

## ◆第8期計画の取組状況

○：取組・成果 □：課題

### 1. 地域包括ケアシステムの深化

#### 1-1. 地域共生社会の実現に向けて

□住民が世代を超えて互いに支え合う地域づくりを推進するため、引き続き関係機関等との連携強化や住民への啓発等に取り組み、地域包括ケアシステムの深化に努めることが必要です。

#### 1-2. 地域包括支援センターの機能強化

##### (1) 地域包括支援センターの適切な運営

- 支援を必要とする市民のための総合相談の窓口として、体制強化と周知・啓発を図りました。
- コロナ禍では特に、老人福祉センターにて出張相談窓口を定期的に設け、高齢者の不安解消や課題解決に努めました。
- 多様化する相談内容に対し、より適切な対応ができるよう、地域包括支援センターの周知徹底がさらに必要となります。

##### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
初期相談件数	計画値	1,420件	1,460件	1,500件
	実績値	1,432件	1,648件	件
	達成率	100.8%	112.9%	%
出張相談「寄ってって」件数	計画値	20件	20件	20件
	実績値	5件	23件	件
	達成率	25.0%	115.0%	%

##### (2) 地域包括支援センターの機能強化

- 地域包括支援センター自己評価表にもとづく評価や、公正・中立的な運用とスキルアップ、課題の整理及び改善に取り組みました。
- 地域包括支援センター運営状況についての定期的な評価及び、適宜改善に取り組むシステムを維持することが必要です。

##### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
運営協議会開催回数	計画値	2回	2回	2回
	実績値	1回	1回	回
	達成率	50.0%	50.0%	%

### 1-3. 地域ケア会議の推進

- ケアマネジャーが多職種の視点をアセスメントに生かせるよう、訪問や会議の体制を整え、高齢者の自立支援に向けて取り組みました。
- 歯科衛生士が新たに会議に参加し、口腔分野に関する助言を得られるようになりました。
- 令和4年度から2年間「大阪府介護予防ケアマネジメントICT化促進事業」の協力市として参加しており、地域包括支援センターと一緒に介護予防アセスメントの質を向上するための検討に取り組んでいます。
- 多職種の支援によって改善した好事例について、関係者・市民とも共有することが大切です。
- 地域ケア会議を重ねることで課題として見えてくる、地域に必要な社会資源の不足等について、具体的に開発や政策形成につなげることが必要です。

#### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
自立支援に向けた地域ケア会議 開催回数	計画値	40回	40回	40回
	実績値	64回	57回	回
	達成率	160.0%	142.5%	%
訪問介護に係る地域ケア会議 開催回数	計画値	2回	2回	2回
	実績値	0回	0回	回
	達成率	0.0%	0.0%	%

### 1-4. 医療・介護連携の推進

- 医療・介護の連携推進について協議する「いけ！ネット」定例会は、新型コロナウイルスの影響により、月1回から開催回数が減少したため、オンラインでも開催をできるようにしました。また、ICTを利用した医療・介護に関わる多職種間の情報提供ツールである「藤・ネット」も活用し、医療・介護・行政等の多職種の顔の見える連携を深めています。
- 「藤・ネット」のさらなる利用促進と有効活用を目指す必要があります。また、「いけ！ネット」定例会においては、積極的に「藤・ネット」を活用した連絡や情報共有を行うなど、利用の促進が必要となります。

#### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
いけ！ネットの開催回数	計画値	15回	15回	15回
	実績値	3回	10回	回
	達成率	20.0%	66.7%	%

## 1 - 5. 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

- 介護予防活動の普及・啓発のために、保健センターや地区会館等で介護予防に関する講義等を実施しました。
- コロナ禍により通いの場が中止となる期間が長く続きましたが、工夫して開催しようとする地域の支援や、ショッピングセンターにおける誰でも参加できる体操の主催、介護予防啓発冊子の改定等に取り組みました。
- 短期集中予防サービス終了後も自立した生活ができるよう、セルフケアを支援する体制を検討することが課題となります。
- 現行相当の通所介護だけでなく、ニーズに応じて多様なかたちの通所介護の検討が必要です。
- 市民の介護予防に対する関心を高める取組が必要となっています。
- 高齢者の通いの場参加率の増加・維持や、より多くの地域での支援の実施等が課題となります。
- 地域において通いの場を立ち上げるきっかけとして体操が有効活用されるよう、更なる普及を目指すとともに、自立支援の意識を市民に持ってもらえるような啓発が課題となります。

### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
訪問型サービス事業者数	計画値	28 事業所	30 事業所	32 事業所
	実績値	事業所	25 事業所	28 事業所
	達成率	%	83.3%	87.5%
通所型サービス事業者数	計画値	15 事業所	17 事業所	19 事業所
	実績値	14 事業所	16 事業所	18 事業所
	達成率	93.3%	94.1%	94.7%
訪問型サービス延利用者数	計画値	4,346 人	5,060 人	5,201 人
	実績値	3,785 人	3,476 人	人
	達成率	87.1%	68.7%	%
通所型サービス延利用者数	計画値	5,784 人	5,904 人	6,024 人
	実績値	5,331 人	5,643 人	人
	達成率	92.2%	95.6%	%
介護予防講座実施回数	計画値	22 回	22 回	22 回
	実績値	10 回	18 回	22 回
	達成率	45.5%	81.8%	100.0%
お達者くらぶ実施回数	計画値	48 回	48 回	48 回
	実績値	21 回	40 回	48 回
	達成率	43.8%	83.3%	100.0%
元気はつらつクラブ実施回数	計画値	9 回	9 回	9 回
	実績値	7 回	8 回	9 回
	達成率	77.8%	88.9%	100.0%
介護予防手帳交付冊数	計画値	100 冊	100 冊	100 冊
	実績値	29 冊	30 冊	100 冊
	達成率	29.0%	30.0%	100.0%

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
健康教育実施回数	計画値	4回	4回	4回
	実績値	0回	0回	2回
	達成率	0.0%	0.0%	50.0%
健康相談実施人数	計画値	100人	100人	100人
	実績値	351人	536人	100人
	達成率	351.0%	536.0%	100.0%
男性料理教室地域の会実施回数	計画値	4回	8回	8回
	実績値	4回	4回	4回
	達成率	100.0%	50.0%	50.0%
ええとこふじいでら♪ 体操実施回数	計画値	4回	5回	6回
	実績値	4回	12回	12回
	達成率	100.0%	240.0%	200.0%

※1-6～1-11は指標設定がないため、記載略。以下、同様。

## 2. 健康づくりと生きがいの推進

### 2-1. 健康づくり・生活習慣病予防の推進

- 各種教室等を通じた生活習慣病の予防や健康増進等の健康に関する正しい知識の普及、及び各種健康相談を通じて、必要な指導・助言を実施しました。
- 様々な健康診査の受診率向上に向けて周知・啓発に努めるとともに、受診しやすい環境を整備しています。
- 市民の、健康づくりに対する関心を高める取組や各種健康相談等をより多く利用してもらえるよう、普及・啓発が必要となります。
- がん検診の受診率が伸び悩んでいるため、受診率向上に向けた周知・啓発が課題となります。

#### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
健康教育実施回数	計画値	37回	38回	38回
	実績値	23回	36回	38回
	達成率	62.2%	94.7%	100.0%
健康相談実施回数	計画値	150回	150回	150回
	実績値	130回	135回	150回
	達成率	86.7%	90.0%	100.0%
住民健康診断受診者数	計画値	8,000人	8,000人	8,000人
	実績値	8,813人	8,852人	9,000人
	達成率	110.2%	110.7%	112.5%
特定健康診断等の対象とならない 方の健康診断受診者数	計画値	70人	70人	70人
	実績値	59人	47人	50人
	達成率	84.3%	67.1%	71.4%

## 2-2. 生きがい活動と社会参加の促進

- コロナ禍で活動が制限されるなか、各地区老人クラブで寝たきり高齢者や一人暮らし高齢者等の訪問活動を行い、絆を絶やさないよう取り組みました。
- 老人福祉センターについては、新型コロナウイルスの影響で長期休館や年間利用者数の減少がみられましたが、利用者からのニーズは高く、高齢者の憩いの場としての利用を図っています。
- 「百歳（ひゃく）まで生きよう運動」講座の開催を希望する老人クラブは、新型コロナウイルス蔓延の影響により、ありませんでした。
- 老人クラブ会員数の減少や高齢化の進行による組織力の低下・衰退により、地縁による地域支え合いの仕組みが弱まっているため、老人クラブ活動の活性化及び新規会員の増加を目指した支援の検討が必要。
- 老人福祉センターの老朽化に伴い、今後の施設の在り方の検討が必要となります。また、利用者の高齢化もあり、新規利用者の獲得も必要です。
- コロナによる長期の自粛により、「百歳（ひゃく）まで生きよう運動」の認知度の低下が危惧されるため、さらなる周知が必要となります。

### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
友愛訪問実施人数	計画値	829人	837人	845人
	実績値	840人	785人	845人
	達成率	101.3%	93.8%	100.0%
老人福祉センター年間延入館者数	計画値	47,817人	48,295人	48,777人
	実績値	8,795人	18,023人	20,000人
	達成率	18.4%	37.3%	41.0%
老人クラブ会員数	計画値	3,074人	3,114人	3,154人
	実績値	2,826人	2,592人	2,397人
	達成率	91.9%	83.2%	76.0%
「百歳（ひゃく）まで生きよう運動」 開催回数	計画値	6回	6回	6回
	実績値	0回	0回	6回
	達成率	0.0%	0.0%	100.0%

### 3. 高齢者の自己決定を支える体制づくりの推進

#### 3-1. 高齢者虐待防止の推進

- 年1回、ケアマネジャーなどに対して研修等を実施し、高齢者の虐待防止や早期発見など権利擁護の重要性について周知・啓発を実施してきました。
- 地域包括支援センター窓口での相談対応だけでなく、老人福祉センターへの出張相談を行う等、相談しやすい体制を確保しています。
- ヘルパーや通所サービスのスタッフ等に対する権利擁護の重要性の周知・啓発の機会づくりが課題となっています。

##### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
高齢者虐待に関する相談件数	計画値	22件	22件	22件
	実績値	25件	24件	件
	達成率	113.6%	109.1%	%

#### 3-2. 認知症施策の推進

- 認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員による支援に取り組んできました。
- 認知症の人が地域で安心して生活できるよう、中学生を対象に認知症サポーター養成講座を市内の中学校3校の全てで開催し、地域力の向上に努めました。
- 高齢化が進むにつれて認知症、認知症疑いの対象者の今後の増加が見込まれるため、必要な体制整備の検討が課題となります。

##### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
認知症サポーター養成講座 受講者数	計画値	350人	350人	350人
	実績値	156人	674人	350人
	達成率	44.6%	192.6%	100.0%
初期集中支援チーム員会議 実施回数	計画値	12回	12回	12回
	実績値	12回	12回	12回
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%
地域支援推進員数	計画値	1人	1人	1人
	実績値	1人	1人	1人
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%
介護者家族の会開催回数	計画値	12回	12回	12回
	実績値	5回	8回	12回
	達成率	41.7%	66.7%	100.0%
認知症家族セミナー開催回数	計画値	2回	2回	2回
	実績値	0回	2回	2回
	達成率	0.0%	100%	100.0%

### 3-3. 権利擁護の推進

- 成年後見制度の申立て全般に関する支援、関係者への情報提供や普及の実施に努めました。
- 相談を受けた時点で著しく判断能力の低下がみられる方や、日常生活自立支援事業利用で状況の変化があった場合、成年後見制度等へ案内しています。
- 認知症等による判断能力の低下や、親族関係・社会課題の複雑化により、権利擁護の制度相談の増加やそれに伴う支援強化が課題となっています。

#### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
成年後見等利用支援事業利用件数	計画値	2件	2件	2件
	実績値	0件	0件	2件
	達成率	0.0%	0.0%	100.0%
日常生活自立支援事業利用件数	計画値	41件	42件	43件
	実績値	39件	31件	件
	達成率	95.1%	73.8%	%

## 4. 介護保険サービスと在宅サービスの充実

### 4-1. 介護保険サービスの充実・強化

- 地域包括支援センターが事務局として開催している介護保険事業者連絡協議会に本市職員も参加し、情報交換や意見交換を定期的を実施しています。
- 社会福祉法人等による利用者負担軽減制度の軽減対象者数は、近年では、年間10人以下となっています。
- 介護事業所との情報交換や連携については、今後ますます重要となってくるため、密な連携体制の構築と維持が必要となります。
- 低所得者に対する利用者負担軽減制度を実施している社会福祉法人が浸透していないため、制度の周知と利用促進が必要となります。

#### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
事業者連絡協議会の開催回数	計画値	12回	12回	12回
	実績値	6回	9回	回
	達成率	50.0%	75.0%	%
本市が主催する介護支援専門員を対象とした研修会の開催回数	計画値	1回	1回	1回
	実績値	1回	0回	1回
	達成率	100.0%	0.0%	100.0%
社会福祉法人負担軽減措置申請法人数	計画値	10法人	10法人	10法人
	実績値	10法人	10法人	10法人
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%

### 4-2. 地域密着型サービス等の充実・強化

- 令和4年度から地域密着型サービス事業者を集団指導の実施対象としました。
- 地域密着型サービスの種類やサービス内容について幅広く周知し、利用者のニーズに合わせて地域で有効に利用されるよう努める必要があります。
- 地域密着型サービス事業所の実地指導の実施のための、人員確保や専門的知識の習得が課題です。

#### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
地域密着型サービス事業所への実地指導件数	計画値	2件	2件	2件
	実績値	0件	0件	2件
	達成率	0.0%	0.0%	100.0%



### 4-3. 適正な介護給付の推進

- 認定調査票の基本調査チェック項目と特記事項の記載内容等に違いがないかの点検・確認を実施しています。
- 「国保連介護適正化システム」や「ケアプラン点検支援マニュアル」を活用して定期的にケアプラン点検を行い、ケアマネジャーの気づきにつながるよう助言を実施しています。
- 住宅改修に関しては、提出書類の全件点検を行っており、受給者の状態から必要性が分からない住宅改修については訪問調査を実施しています。
- 福祉用具購入の申請理由が直近の認定調査の結果及び主治医意見書の内容と整合性が取れているかを確認しています。
- 国保連合会から送付される給付内容をもとに毎月点検を実施し、加算に特化して事業所に照会や算定要件等について周知を行う等、不適正な給付の抑制に努めています。
- 実地指導担当職員の人数を確保し、専門的知識等のスキルアップを図ることで、適切かつ継続的な実地指導を実施していく必要があります。
- 市内の居宅介護支援事業所に対し、制度に対する解釈の共有や体制の構築を強化していくことが課題となります。
- 訪問調査を実施し、住宅改修や福祉用具貸与及び購入の適正化に努めることが必要です。

#### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
調査票の点検件数	計画値	3,621 件	3,725 件	3,836 件
	実績値	1,972 件	2,425 件	4,140 件
	達成率	54.5%	65.1%	107.9%
ケアプラン点検数	計画値	60 件	60 件	70 件
	実績値	77 件	54 件	60 件
	達成率	128.3%	90.0%	85.7%
住宅改修の適正化 訪問調査件数	計画値	5 件	5 件	5 件
	実績値	0 件	2 件	5 件
	達成率	0.0%	40.0%	100.0%
福祉用具購入・貸与調査 訪問調査件数	計画値	5 件	5 件	5 件
	実績値	0 件	0 件	5 件
	達成率	0.0%	0.0%	100.0%
介護給付通知送付回数	計画値	年 3 回	年 3 回	年 3 回
	実績値	年 3 回	年 3 回	年 3 回
	達成率	100%	100%	100%

#### 4-4. 利用者本位のサービス提供の推進

- 介護相談員を増員し、訪問する施設を増やしましたが、コロナ禍で施設訪問ができておらず、辞職した相談員の補充も困難な状況にありました。
- コロナの感染拡大に伴い、介護サービス相談員の活動を中止していました。今後の活動方法についての検討が必要になっています。

#### <指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
介護サービス相談員実働人数	計画値	20人	24人	28人
	実績値	16人	12人	12人
	達成率	80.0%	50.0%	42.9%

#### 4-5. 在宅福祉サービスの推進

- 寝具乾燥サービス、訪問理容・美容サービス、日常生活用具給付等について、適切な事業を実施してきました。
- みまもりホットライン、在宅高齢者紙おむつ等給付について、適切なサービス提供を行っています。
- 生活支援型ホームヘルプサービスについて、地域包括支援センターと連携し、定期的な利用者のニーズ、適切なサービスを把握しています。
- 在宅高齢者給食サービスについて、配達時に応答がないなどの異変が予測される利用者については、関係機関や親族と連絡を取り、高齢者の所在を把握しています。
- 園芸福祉について、藤井寺小学校及び道明寺南幼稚園において、春季（3月から6月）と秋季（10月から11月）にそれぞれ週1時間、活動を実施しています。
- 寝具乾燥サービス、訪問理容・美容サービスは、利用者の衛生的な生活と身体的負担の軽減につながるよう事業の周知が課題となります。日常生活用具給付等は社会情勢の変化も踏まえて、事業のあり方を検討する必要があります。
- 在宅高齢者紙おむつ等給付は、事業の周知を図るとともに、需要に応じたサービス提供に努めることが必要です。
- 要介護認定において『非該当』になった方が対象である事業は、サービス利用の際の日常生活に支援を必要とするものの判断が困難な場合があります。介護予防の観点から在宅での自立生活を支援するため、継続して事業を行う必要があります。
- 在宅高齢者給食サービスは、見守り活動として重要な役割をもっている事業であるため、他機関との連携を強めることが必要です。
- 園芸福祉は、利用者数が少なく、ボランティアが高齢化しています。他機関の協力をもとに、対象となりえる方の把握方法を検討し、ニーズや利用状況等を勘案し、今後の事業展開について検討していくことが課題となります。

<指標達成状況>

		令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
寝具乾燥サービス延利用件数	計画値	29件	30件	31件
	実績値	10件	4件	22件
	達成率	34.5%	13.3%	71.0%
訪問理容・美容サービス延利用件数	計画値	24件	25件	26件
	実績値	9件	11件	17件
	達成率	37.5%	44.0%	65.4%
電磁調理器給付件数	計画値	3件	3件	3件
	実績値	1件	2件	3件
	達成率	33.3%	66.7%	100.0%
火災報知器給付件数	計画値	2件	2件	2件
	実績値	1件	0件	1件
	達成率	50.0%	0.0%	50.0%
自動消火器給付件数	計画値	2件	2件	2件
	実績値	0件	0件	1件
	達成率	0.0%	0.0%	50.0%
福祉電話延貸与件数	計画値	4件	4件	4件
	実績値	4件	3件	1件
	達成率	100.0%	75.0%	25.0%
みまもりホットライン利用者数	計画値	170件	174件	178件
	実績値	177件	177件	181件
	達成率	104.1%	101.7%	101.7%
在宅高齢者紙おむつ等給付 延利用件数	計画値	900件	919件	938件
	実績値	854件	896件	938件
	達成率	94.9%	97.5%	100.0%
生活支援型ホームヘルプサービス 年間利用時間	計画値	106時間	106時間	106時間
	実績値	0時間	0時間	106時間
	達成率	0.0%	0.0%	100.0%
生活支援型ショートステイ 延利用日数	計画値	2日	2日	2日
	実績値	0日	0日	2日
	達成率	0.0%	0.0%	100.0%
在宅高齢者給食サービス延配食数	計画値	10,256食	10,462食	10,672食
	実績値	6,355食	7,145食	8,052食
	達成率	62.0%	68.3%	75.4%
園芸福祉事業利用者数	計画値	2人	2人	2人
	実績値	0人	1人	2人
	達成率	0.0%	50.0%	100.0%

#### 4-6. 介護に取り組む家族等への支援の充実

○家族介護慰労金の給付については、平成 26 年度以降実績がありません。

□適正な制度の利用についての周知が必要となっています。

##### <指標達成状況>

		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度 (見込み)
家族介護慰労金給付者数	計画値	1 人	1 人	1 人
	実績値	0 人	0 人	1 人
	達成率	0.0%	0.0%	100.0%